笹川環境大臣、細野復興大臣、宮本原災現地本部長が相次いで村を訪れました

9月17日に発足した第2次高市改造内閣に入閣した大臣が相次いで来村し、村の幹部と意見を交わしました。

9月30日に笹川博義環境大臣、10月1日に細野豪志復興大臣が来村しました。村は、それぞれに要望書を提出。環境再生事業への理解醸成の推進や、帰還困難区域の再生・発展に向けた支援、復興財源の確保、雇用や生業の創出に向けた支援などを要望しました。また、村の現状や、将来に向けた取り組みについて説明し、意見を交わしました。

一方、10月19日には宮本周司原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）が来村。杉岡村長と村役場で会談し意見を交わした他、長泥地区を視察しました。



９月30日に来庁した笹川博義環境大臣（写真中央）。



10月19日に来庁した宮本周司本部長（写真右）。



10月１日に来庁した細野豪志復興大臣（写真右）。

川俣町と包括連携協定を締結 地域の課題解決に協働します

村は川俣町と包括連携に関する協定を締結しました。締結式は、9月29日、川俣町の「オリナスかわまた」で行われ、藤原一二川俣町長、杉岡村長が、署名した協定書を取り交わしました。

この協定に基づき、村と川俣町は、共通の地域課題の解決に向け、移住・定住の促進や教育環境の充実などに連携して取り組みます。杉岡村長は、震災以降の多大な支援に感謝を表し、「住民と共に培ってきた絆を深めていきたい。共に栄え発展できるよう連携したい」と期待を述べました。



地域として課題解決やにぎわい創出に取り組みます。笑顔で握手を交わす藤原町長（左）と杉岡村長。

ロゴマーク披露式 「10年後の手紙」発送式



村民の皆さんが10年後の自分や大切な人に宛てた手紙を、70周年を迎えた当日に発送しました。

立村70周年を迎えた9月30日に合わせて、『美わしく 清らかな村 いいたて』ロゴマーク披露式と『10年後の手紙』発送式を、役場にて執り行いました。

式では、公募で決定したロゴマークのデザイン（右のロゴマーク）を発表。続いて、立村60周年の際に寄せられた「10年後の手紙」1,043通を、杉岡村長が郵便局員に引き渡し、発送しました。

美わしく
清らかな村
いいたて

日美連ビューティフルデーに 清掃活動を実施



村主催の作業に参加した皆さん。この他、深谷・臼石・草野・宮内行政区が独自に清掃活動を実施しました。

「日本で最も美しい村」連合では、10月4日を「美しい村の日」と定め、前後1週間程度の期間に、加盟町村が一斉に清掃活動を行う「ビューティフルデー」の取り組みを推進しています。村は希望者を募り、10月6日に、交流センター「ふれ愛館」周辺のごみ拾いを実施しました。また、4行政区が、地域の草刈りや清掃活動でこの取り組みに参加。記念に、連合のロゴマークが描かれた帽子を配付しました。

日頃から環境美化を心掛け、美しい村の景観を守り、次の世代へつないでいきましょう。

「日本で最も美しい村」連合 合同物産展バスツアー



大玉村を訪れ「美しい村」の魅力を再確認。写真は「森の民話茶屋」。民話ライブも楽しみました。

「日本で最も美しい村」連合に加盟する県内4町村の合同物産展が、10月18日に、「大玉村ふれあい広場」にて開催されました。大玉村の「おおたまうまいもの祭り」との同時開催で、各町村が自慢の特産品やご当地グルメを販売しました。村はこの機会にバスツアーを企画し、村民の皆さんと一緒に会場を訪れ、連合加盟町村の魅力を味わいました。

